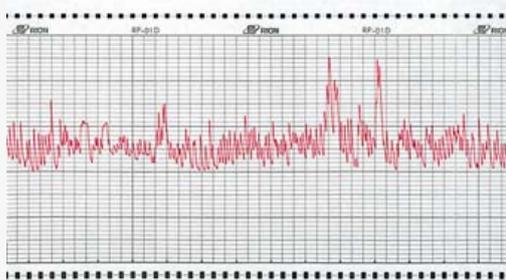


RECORDING SOUND AND VIBRATION 音と振動の記録

音・振動のレベル記録

①騒音・振動レベルの記録にはレベルレコーダ(JIS C 1512「騒音レベル、振動レベル記録用レベルレコーダ」)が使用されます。レベルレコーダは騒音計や振動レベル計の出力信号を接続して、騒音レベルや振動レベルを記録します。このため記録ペンの動特性を選択して使用します(LR-07：1ch、LR-20A：2ch)。

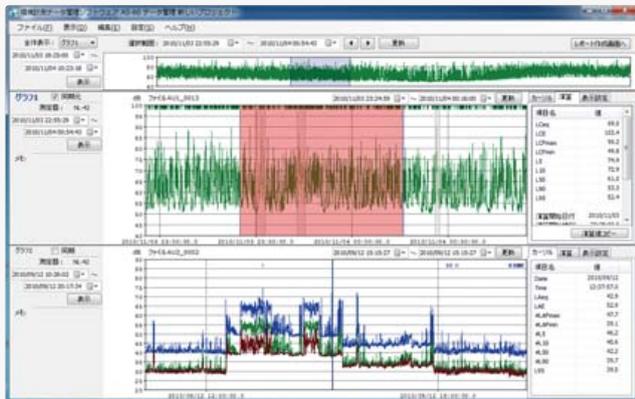


レベルレコーダ用記録紙 RP-01Dによる騒音レベルの記録

②SD/CFカードスロットを装備した騒音計や振動レベル計を使用すると、レベルデータを直接メモリーカードに記録して、長時間の測定にも対応できます。カードに記録されたデータはコンピュータで専用ソフト、汎用ソフトを使用して後処理を行い、騒音レベル、振動レベル波形の表示、記録などが行えます(NL-42/52、VM-53A)。

■CFカードの容量と騒音、振動のレベル記録時間
(100 msごとの瞬時値のストア時間)

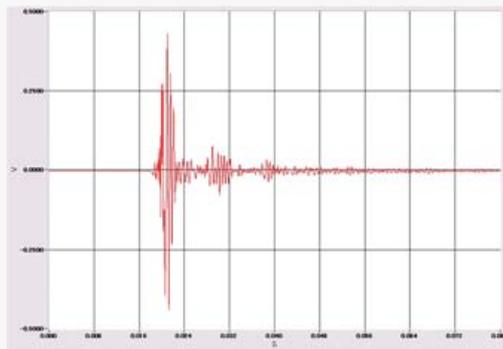
	騒音計	振動レベル計 (3方向)
256 MB	20.8日	7.1日



環境計測データ管理ソフトウェア AS-60

音・振動の波形記録

①首圧波形や振動加速度の波形を記録して分析することが必要な場合もあります。発破、砲撃、衝突などの衝撃音・振動の現象では、立ち上がりの状況や波形ピーク値を計測したり、周波数分析をします。



振動波形の記録例 (鍛造機)

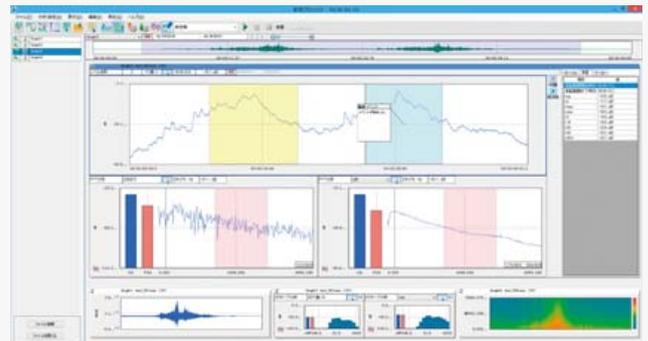
②波形の収録は、波形収録器(NX-28WR/NX-42WR-SA-02/SA-A1)やデータレコーダ(DA-20/40)を使用します。その収録媒体には、CFカードやSDカードが使用されます。収録されたデータは、再生後に分析器、分析ソフトウェアや記録計を使って後処理を行います。

③メモリーカードを使って収録された波形データは、波形分析ソフトCAT-WAVEなどを使って表示・分析することができます。また収録データ(WAVE形式ファイル)は、メディアプレーヤなどのコンピュータソフトを使って、音を再生することができます。

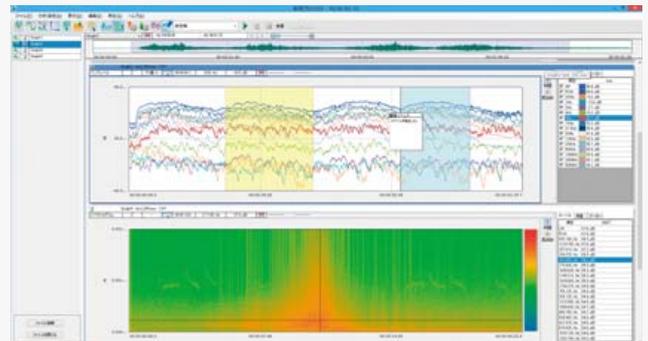
■DA-20

収録ch数	周波数レンジ (Hz)					
	100	500	1 000	5 000	10 000	20 000
1	1066時間40分	213時間20分	106時間40分	21時間20分	10時間40分	5時間20分
2	533時間20分	106時間40分	53時間20分	10時間40分	5時間20分	2時間40分
3	355時間32分	71時間06分	35時間33分	7時間06分	3時間33分	1時間46分
4	266時間40分	53時間20分	26時間40分	5時間20分	2時間40分	1時間20分

最大波形収録時間 (2 GB CFカード* 使用時、目安)
サンプリング周波数: 周波数レンジ×2.56 (2.4も対応)
*動作を保証する当社販売品をお使いください。



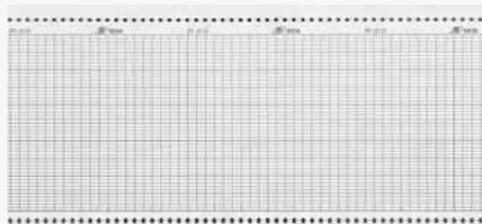
波形処理ソフトウェア AS-70 周波数分析画面例



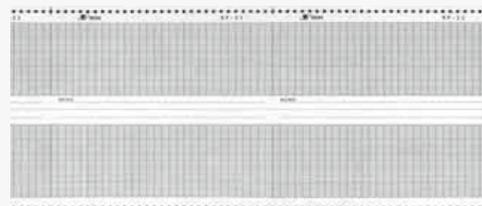
波形処理ソフトウェア AS-70 周波数分析画面例

騒音レベル・振動レベル測定用紙

①レベルレコーダ用記録紙
RP-01D(1ch用)



②レベルレコーダ記録用紙
RP-55(2ch用)



騒音計
振動計
周波数分析器
記録計
地震計
関連製品
測定のための組み合わせ
コードの外形図
概説
One Point
品質書類
会社概要